

報道関係各位

**京都生協の全 18 店舗で、4 月 1 日（火）より
プラスチック製レジ袋の配布を終了します**



環境課題の1つとして、世界的に関心が高まっているプラスチック問題。

京都生活協同組合（本部：京都市南区、理事長：畑忠男、略称：京都生協）は、SDGs 達成に向けた新たな環境の取り組みとして、店舗でのプラスチック製レジ袋の取り扱いを終了します。

詳しくはこちら

実施日：4月1日（火）～

実施店舗：京都生協のすべての店舗（18店舗）



【マイバッグを忘れてしまった場合にご利用いただけるサービス】

無料

- ・リサイクル紙袋（組合員の寄付）
- ・リサイクルマイバッグ（組合員・職員の寄付）
- ・レンタル袋（サービスカウンターで貸し出し）
- ・段ボール箱

有料

- ・KYOTO COOP オリジナルエコバッグ
- ・マイバスケット
- ・紙袋（大・小）

今回のレジ袋取り扱い終了により、年間のレジポリ袋販売数（2024年度は887,153枚）分のプラスチックの使用量が削減できる見込みです。

【ご取材、新聞掲載に関するお問い合わせ窓口】

京都生活協同組合 サステナビリティ推進部 広報

組織プロフィール

TEL : 075-672-6304

WEB : <https://www.kyoto.coop/>





京都生協はこれまで、「お買い物袋持参運動」「リサイクル活動」「エシカル商品の普及」などを通じ、プラスチック使用量の削減、軽量化、環境への負荷が少ない素材への変更などを進めてきました。

「お買い物袋持参運動」

1983年に、下鴨組合員センター（現在のコープ下鴨）で世の中に先駆けてスタートし、1996年には全店でレジ袋有料化を実現しました。長年にわたる組合員の皆さまのご協力により、京都生協のお買い物袋持参率は、2024年度**93%**と高い水準です。

「使用量を減らす」を重視しています

プラスチック問題の解決には、①使用量を減らす（Reduce）、②再利用する（Reuse）、③回収・リサイクルする（Recycle）、④素材を再生可能資源に変更する（Renewable）などの対応策があります。

京都生協は、特に「**使用量を減らす（Reduce）**」が重要と考え、容器・包材の切り替えなどプラスチック使用量の削減を進めています。

本取り組み（プラスチック製レジ袋配布終了）はくらしの中で組合員の皆さまとともにできる、持続可能な未来に向けた具体的な行動として位置付けています。

マイバッグ寄付・回収では、3,071個もの寄付がありました

2025年2月に、宅配・店舗で組合員の皆さまにマイバッグ提供を呼びかけました。京都生協職員提供分もあわせ、総数**3,071**個ものマイバッグの提供があり、マイバッグの輪の広がりにも多くの共感をいただいています。

「リサイクルマイバッグ」として、本取り組みで活用します（店舗にて希望される方に配布）。

先行実施4店舗でのお買い物袋持参率が向上しました

2024年10月から、4店舗（コープ下鴨・らくさい・桃山・祝園駅）にて、レジ袋取り扱い終了を先行実施いたしました。たくさんの賛同・協力をいただいた結果、実施4店舗でのお買い物袋持参率が**3.6%**向上しました。

京都生協は今後も、組合員の皆さまのご協力のもと、SDGs達成に向けた環境の取り組みを推進していきます。つきましては、ご取材・紙面掲載のほど、どうぞよろしくお願いいたします。

【ご取材、新聞掲載に関するお問い合わせ窓口】

京都生活協同組合 サステナビリティ推進部 広報

TEL : 075-672-6304

WEB : <https://www.kyoto.coop/>

組織プロフィール

